



蒲生高校だより

第8巻 第2号 (通巻第23号)

発行日 平成21年12月24日

鹿児島県立蒲生高等学校

北風吹く寒い季節となり、いよいよ2学期も終わろうとしています。今学期も多くの方々のご協力のもと、様々な学校行事が実施されました。体育祭では終盤に大雨というアクシデントに見舞われたり、大桶祭(文化祭)は、新型インフルエンザ対策として、平日開催、食物パザー無しでの実施となっていました。その

ような状況でも、生徒たちは若いエネルギーを存分に発揮しながら一つひとつの行事を精一杯こなし、生き生きと充実した高校生活を送っています。

澁刺とした生徒の姿をご一読いただいて、今後ともご支援、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

教頭 土持 正三

体育祭

9/12(土)

「秋晴れのち一時豪雨」という天候にもめげず、精一杯の力を出し切りました。午前中は2年生優位の得点でしたが、3年生が競技・応援の部ともに総合優勝を果たしました。



2年生応援団



徒競走



選手宣誓

大桶祭

10/29(木)・30(金)

統一テーマ: Everyone is a leader
～一人ひとりが主役～

テーマソング: STORY

新型インフルエンザが本校でも流行り始めた時期で、例年と異なる様々な制約が加わりました。それでも、生徒たちは、体育館では舞台・観客ともに盛り上がり、教室の展示を何回も眺め、階段アート(生徒会の全校取り組み)に見入っていました。一人ひとりが手を添えて参加している実感確かめられた大桶祭でした。



ステージ情報処理科3年2組



竹取物語



階段アート



日本舞踊「三代目」



モザイクアート



陶芸作品展示

第50回九州地区高等学校フットボール競技大会 (7月25日(土)) 宮崎県

県高等学校フットボール競技大会 (10月4日(日))

17年 連続出場

活躍の記録



技能の部 団体 優勝

個人 湯徳 千晶 (情2-2帖佐中) 第1位 今村 彩乃 (情2-1帖佐中) 第3位

速度の部 団体 第8位

始良・伊佐地区秋季大会 (10月22日(木)～23日(金))

【ハンドボール部】女子の部 第3位

【柔道部】団体 第5位

個人81kg級 河地佑太郎 (普2-1重富中) 第2位

【バドミントン部】女子共通シングルス 井上 瑠唯 (情2-1重富中) 第3位

南九州高等学校ハンドボール大会県予選 (11月7日(土)～9日(月)) ベスト4

南日本ジュニア美術展 (9月18日(金)～27日(日)) 平面部門入選 福元 万貴 (普2-1帖佐中)

第58回鹿児島県家庭クラブ研究発表大会 (11月6日(金))

始良・伊佐地区代表 新名 美咲 (普2-2吉田北中)

テーマは「ヘチマで節電～消費電力ヘッチマエ～」で、省エネやエコについて家庭での実体験を踏まえた内容を発表。



フットボール部



こんな分野でも頑張りました

県作文コンクール

特選 永野 翔子(普3-2蒲生中)
入選 岩田 祐樹(情1-2吉田南中)
松木田智美(普2-2山田中)

夏休み課題作文の中から校内選考で各学年一編ずつを応募した結果です。永野さんは「パティシエになる」で、進路を決める迷いと決意を綴っています。特選作品は県が発行する「作文集かごしま」(1月発行)に掲載されます。



鹿児島県高等学校弁論大会 (11月21日出)

優秀賞 大脇 夏紀(情3-2蒲生中)

14名で競われた大会に「それでも薬物ですか」の演題で参加。現代社会の問題に高校生らしい視点で鋭く切り込み、優秀賞を受賞。薬物に対する恐怖、苛立ち、怒りを声量豊かに表現。練習の成果がでました。



好評の朝読書

(11/9月~11/20日)

朝の10分間、自分が選んだ本を開いて読書をする。心を落ち着かせ、静かな雰囲気の中で一日が始まります。朝読書の期間中、普段はめったに顔を見せない生徒が図書館を訪れ、真剣に本を選んで借りていく姿も見られました。もっと期間を延ばして欲しい等の要望についても今後検討していきたいと考えています。



芸術鑑賞会 (11/6日)

映画「スラムドッグ&ミリオネア」

一問正解することによって近づいていく、運命の恋。必ず君を見つけ出す。アカデミー賞受賞作品に生徒たちは多くのことを学びました。

「インドの生活の厳しさやつらさがわかり、あらためて日本が平和だということを感じた。」

「感動と勇気をもらいました。」

「宗教による紛争などもあり、日本は本当に治安の良い国だと思いました。」

「運命の女性との出会い、残酷な別れ、奇跡の再会、愛し合っているのに一緒にいられない中で、あきらめない一途さ。裏切った兄が最後に自分の命に代えてまで見せる『弟に幸せになって欲しい』という兄弟愛に感動した。」 (生徒感想文から)

PTAふれあい校内清掃

(8/30日)



今年も8月最終の日曜日に、朝8時から多くの参加者がトラックやビバーを持って集まり、汗を流しました。時には親子で語らいながら、普段手の届かないグラウンドの隅々まできれいにしました。

一人で悩まないで

自立支援相談員配置

10月から、自立支援相談員配置校になりました。佐藤明美先生が、毎週火曜日、計25回来て下さいます。

生徒はもちろん、保護者の皆様にも利用していただけるので、何か心配なことがありましたら、係までご連絡下さい。

交通事故・違反ゼロに
交通マナーアップ指導員

11月から来年3月まで、「交通マナーアップ指導員」が配置されることとなりました。すでに生徒の通学状態を路上に出てしばしば見られています。

単車通学生はもちろんのこと、自転車や歩行の場合も交通マナーを再認識し、事故や違反がないように努めて下さい。

新型インフルエンザに警戒を!!

本校でも新型インフルエンザが猛威をふるい、流行の拡大が続いています。効果的な薬もありますが、ほとんどの人が免疫を持っていないため、季節性のもより感染力が非常に強く、これほどまでに流行しているのです。「自分が感染源にならない」という気持ちを強く持ち、予防する術を身につけておきましょう。

特に、冬休みを迎えるに当たって、自分の行動に責任を持って過ごしましょう。

◎不要不急な外出は控える

(やむを得ない場合は、「うつらないためのマスク」を着用する)

◎咳が出るときはマスクを着用して

他の人に迷惑を掛けない

(「咳エチケット」の励行)



いろいろな職業を体験しました 2年生

(9/29日~10/1日)

今年も2年生は、販売、幼・保育、飲食、介護・医療、公務など、32の事業所に分かれて職場体験学習をしました。

生徒たちは、初めはとまどいながらも次第に慣れ、充実した3日間を過ごし、得るものも大きかったようです。事業所からも良い評価をたくさんいただきました。今後の進路選択の参考にして欲しいと願っています。

思いやる蒲生高校生に
感謝の手紙

10月初め、始良町中津野の1さん(83歳)から校長宛の手紙が届きました。9月28日、バス停で座席を譲ってくれた男子生徒2人にお礼を言いたい。また続けて、9月30日には自宅前で起こった交通事故に通りがかった女子生徒2人が、雨でずぶ濡れになりながら連絡や手伝いをしてくれたことに感動しました。後日、話を聞いた息子さんから南日本新聞「ひろば」(10月14日付)に投書もありました。

手紙はこう結ばれています。「最近色々なことありますが、私が出逢ったこの高校生の方々は、立派な社会人になって下さるものと心強く思いました。」

蒲生高校生は、思いやる心で、困っている人を助ける。そんな姿が、1さんにはとても印象的だった。1さんは、手紙の中で、蒲生高校生に感謝の言葉を述べている。手紙の全文は、1さんの手紙を転載している。

＊ホームページもご覧ください

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Kamo/>

鹿児島県始良郡蒲生町下久徳848-2

鹿児島県立蒲生高等学校

電話 0995-52-1155

FAX 0995-52-1161